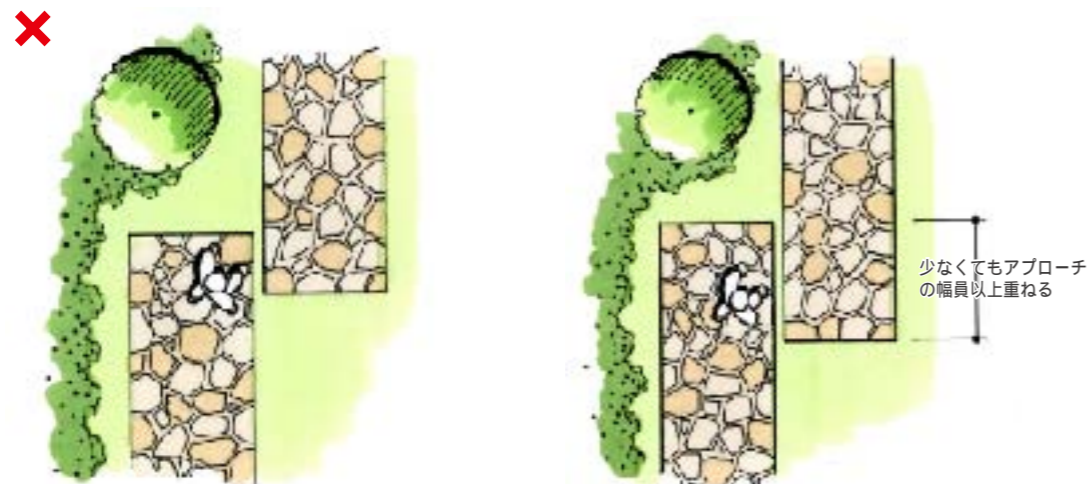


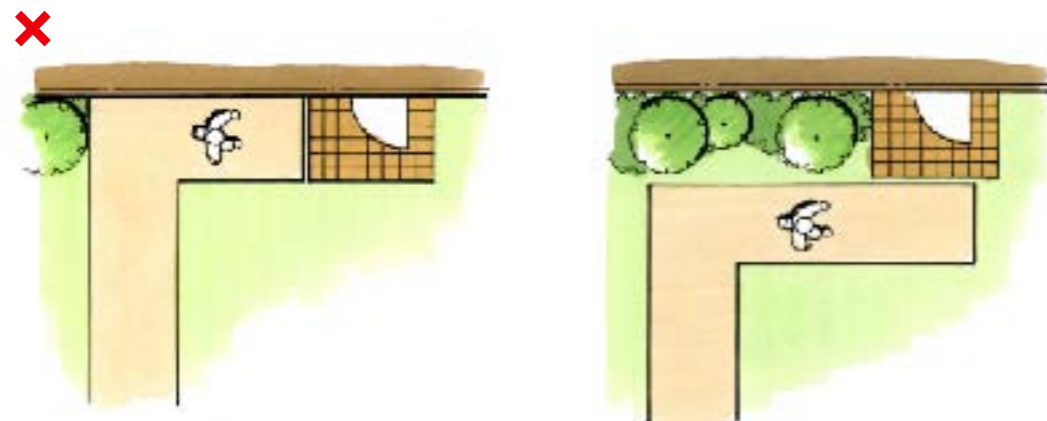
直線的なアプローチはシンプルモダン系の住宅によく合いますが、どの様な点に注意をしなければいけないかいくつか例をあげて解説しましょう。



クランク状のアプローチは良く見かけるが、実際に利用してみると歩きにくい。特に障害物が無い場合は中間のラインを斜めに処理した方が歩きやすいものになる。また、進行方向前方に植栽などを計画し、柔らかい印象を与えるよう配慮したい。

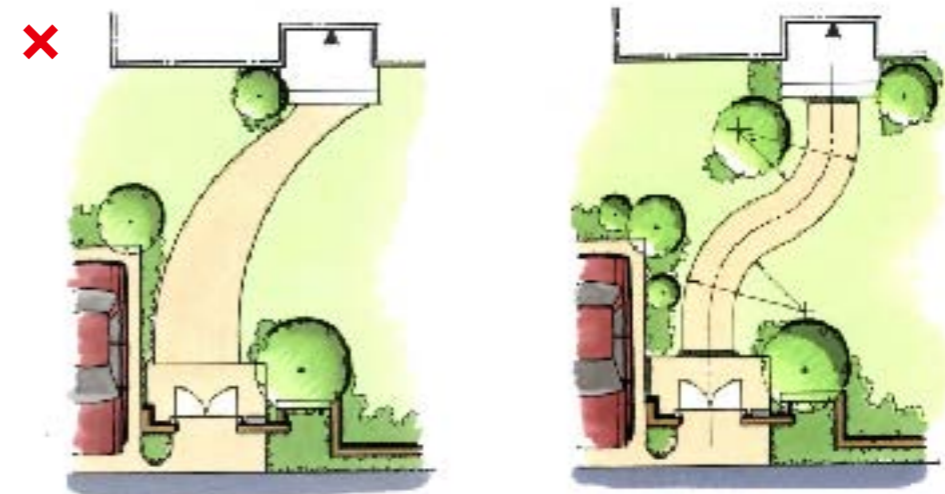


この様に床を分離する場合はその重複部分を大きくとらないと、歩きにくくなるので注意する。



L字型アプローチは建物際で曲げると、正面に建物の基礎と外壁しか見えず堅い印象を与える。ステップ側面ではなく正面にレイアウトしアプローチと建物の間に植栽スペースを確保する事が望ましい。

曲線的なアプローチは柔らかい表情となり人気がありますが、同じくどの様な点に注意をしなければいけないか見てみましょう。



曲線をラフなイメージで計画すると現場で施工する際、位置決めが難しくなるばかりでなく施主に対して説得力がなくなる。できればきちんとポイントを設け同心円の一部を使って計画する様心がけたい。



曲線のアプローチをレンガやタイルで施工すると端部に小さな切り物が入り脱落しやすい。この場合は縁をしっかりと、その内側で切り物を納める様にしたい。仕上がりが手間を考えると、自然石の乱貼りや洗い出し仕上げの方が綺麗に納まる。

スロープを設ける場合でも階段を合わせて計画することが望ましいのですが、デザイン的に上手く処理することが結構難しいものです。当然手摺りやフットライトなどもあったら良いでしょう。普段から身の回りの施工事例等を良く観察し、使い勝手とデザインが両立した素敵なアプローチを提案できるよう心がけましょう。

